

第2回室蘭地区指導者研修会報告書

平成29年8月27日

報告者 ユース育成部会 深谷明弘

- 1 目的 室蘭地区の一貫指導を目指した指導技術の向上とベクトルの共有の場とする。
- 2 主催 室蘭地区サッカー協会
- 3 主管 室蘭地区サッカー協会ユース育成部会
- 4 期日 平成29年 8月26日(日) 18:00-20:00
- 5 場所 まなびの里サッカー場
- 6 指導者 深谷明弘、菅田浩之
- 7 内容 U12, U14, U16トレセンスタッフによる指導実践を通して、個の守備に関わる指導方法の方向性を探る。
- 8 対象者 室蘭地区登録チーム 指導者
- 9 報告 当日は24名の地区指導者が参加
(2種:5名、3種:7名、4種:9名、1種:1名、橋本副会長) 第2回:23名参加

【U12】 Tr1 ポゼッション 指導実践者 真島氏(北湘南SS)

4:1及び5:3のポゼッション、守備の動きを見て動いた瞬間にボールを動かすことにフォーカスしたトレーニングを参加者で体感した。止める・蹴るの基本技術を習得した状況で出し手は守備の動きを見てボールを動かす習慣をコーチング、受けても動き過ぎないことで止める・蹴るの精度が上がることを共有した。同じトレーニングでも、求める基準を明確にすることで、様々なアプローチが可能となることを確認した。(基準の明確化)

【U16】 Tr2 ゴールを目指す・サポートの質 指導実践者 菅野氏(伊達緑)

4:4+サーバーの中で、4人でボールを動かしながらサーバーにボールを入れその後、リターンされたものにサポートしてゴールを目指す。まずは全員がサーバー(FW)を意識しながらゴールを目指す。ディスカッションではスイッチを入れる状況でサポートとのタイミングが重要、早い段階でのロングフィードではサポートが間に合わないなどの事を共有した。GKも含めたビルドアップのトレーニングとしても活用できるなどの意見が出された。

【U14】 Tr3 GKの基本的な姿勢 指導実践者 加藤氏(伊達中)

ドリル形式でGKの基本的な姿勢についてトレーニングを行った。ディスカッションでは基本姿勢の重要性、グラウンドなど悪条件下でのトレーニング方法について意見が出された。ダイビング系の練習では環境の整った中で恐怖心を与えない事が重要、ドイツでの初期段階での導入トレーニングについてもアドバイスが出された。また、基本姿勢についてはダイビング系のトレーニングをしなくても十分に可能であることを共有した。

まとめ ユース育成部会(深谷)より

今回の研修では日頃、自チームにおいてトレーニングしているものを紹介していただき、参加者で体験した。当日はどのカテゴリーも早朝から試合が組まれていたにも関わらず23名の参加をいただき和やかな雰囲気の中で指導者の交流を深める事が出来た。最後には恒例の11:11のゲームを行い、激しい戦いが繰り広げられた。また、今回は橋本副会長に視察に来ていただき雰囲気の良さを感じていただいたと共に、今後の開催に向けたアドバイスを受ける事が出来た。

最後にオール室蘭を目指し、カテゴリーの枠を超えて指導者の情報交流を活性化したい旨を伝え研修会を終えた。